

# 令和6年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要

(令和5年度第1次3月補正予算含む)

## ◎予算編成のポイント

- ・ 令和6年能登半島地震の被災者に対し、救助を実施するほか、被災者の生活再建を支援する。
- ・ 自助・共助による地域防災力の向上を図るため、防災士の育成・質の向上に取り組むとともに、消防団の充実・強化などに取り組む。
- ・ 原子力防災・安全対策については、原子力防災計画等に基づき、原子力防災対策の強化を図るとともに、志賀原子力発電所の安全対策の徹底を図る。

## ◎重点主要施策の概要

- 令和6年能登半島地震により救助を必要とする被災者に対し、避難所の設置・運営及び応急仮設住宅の供与など災害救助法に基づく救助を実施するほか、応急仮設住宅等の入居者に対する生活家電の提供や、国や他自治体からの応援職員をはじめとした支援者の受入環境の整備を図る。
- 国の被災者生活再建支援制度や県の独自制度に基づく支援など、被災者の生活再建の支援に取り組む。
- 自助・共助による地域防災力の向上を図るため、自主防災組織のリーダーとなる防災士の育成に努めるほか、活動の質の向上を図るため、防災士スキルアップ研修を実施する。
- 住民の安全・安心を守る地域防災の要である消防団の充実・強化を図る。
- 原子力防災体制の整備を図るため、原子力防災対策を強化するほか、原子力環境安全管理協議会の運営などを通じた原子力安全対策の徹底を図る。

令和6年度当初予算 危機管理監室主要施策の概要  
(令和5年度第1次3月補正予算含む)

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
1 令和6年能登半島地震への対応		
・ 災害救助法に基づく応急救助 (能登半島地震復旧・復興推進部へ移管)	249,230,000 (うち3月1次補正 70,690,000)	避難所(1次、1.5次、2次)の設置・運営、食料品や生活必需品の支給、応急仮設住宅の設置、住宅の修理など
・ 応急仮設住宅等入居者に対する生活家電の提供 (3月1次補正) (能登半島地震復旧・復興推進部へ移管)	1,300,000	災害救助法による支援の対象外である洗濯機・冷蔵庫・テレビの提供
・ 災害弔慰金の支給 (3月1次補正)	843,750	死亡された方の遺族に対する災害弔慰金の支給
・ 支援者の受入環境の整備 (能登半島地震復旧・復興推進部へ移管)	1,543,000 (うち3月1次補正 922,000)	国・他自治体からの応援職員等の宿泊拠点の確保 (利用施設の応急修繕、キャンピングカーの借り上げ、のと里山空港におけるプレハブ式宿泊所の整備など)
・ 被災者の生活再建 (3月1次補正) (能登半島地震復旧・復興推進部へ移管)	3,110,000	被災者生活再建支援法に基づく国制度による支援に加え、 県独自の支援制度に基づき、住宅の再建・修理などを支援 ・被災者生活再建支援法に基づく支援(都道府県拠出基金で対応) 国制度による生活の安定や住宅の再建・修理など (全壊・半壊解体:最大300万円、大規模半壊:最大250万円、中規模半壊:最大100万円) ・県独自の被災者生活再建支援制度に基づく支援 半壊世帯への支援(最大100万円)
・ 災害援護資金の貸付	900,000 (うち3月1次補正 450,000)	関係市町に対する災害援護資金の貸付(最大350万円)
2 災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力の向上		
・ 防災総合訓練費	1,665	防災総合訓練の実施(津幡町内) 大規模災害を想定し防災関係機関と地域住民等が一体となった訓練
・ 災害危機管理アドバイザー設置費	670	災害発生時の対応や平素の危機管理への専門的助言など
・ 防災士等育成強化・資質向上推進事業費	37,381	自主防災組織の充実・強化 防災士の育成 32,000 千円 防災士活動のスキルアップ研修の実施 4,311 千円 防災士表彰の実施 270 千円 地域防災トップリーダー研修の実施 800 千円
・ 大学等と連携した防災人材育成推進事業費	2,000	大学等と連携した学生防災士の育成、防災活動の輪を広げる学生防災フォーラムの開催
・ 白山火山防災対策費	5,000	民間アプリを活用したスマートフォン等による登山届の提出促進、防災・救助訓練の実施など

◎ 主要事業

事業名	金額(千円)	説明
・ 総合防災情報システム等管理運営費	117,974	総合防災情報システム管理 51,654 千円 防災行政無線等管理 66,320 千円
・ いしかわの消防団充実強化・支援費	15,209	装備の充実 5,000 千円 救助資機材・安全装備品等の整備に対する助成 団員の確保・活性化 10,209 千円 子ども消防学校の開催等
・ 消防防災施設等整備費	2,000	小型動力ポンプ・救急資機材整備等に対する助成
・ 航空消防防災体制運営費	393,202	消防防災ヘリコプター「はくさん」の運航 運航費等 351,511 千円 点検整備費 41,691 千円
・ 消防防災ヘリコプター更新事業費	2,326,500	消防防災ヘリコプター「はくさん」の更新 (R7年春供用開始)
・ 原子力防災対策費	386,103	防災対策の強化 防災資機材の整備、原子力防災訓練の実施、 緊急時連絡網管理等
・ 原子力安全対策費	318,293	環境放射線監視機器の更新等 76,834 千円 環境放射線監視業務 236,459 千円 原子力環境安全管理協議会の運営 5,000 千円